

吉賀町の概要

(1) 吉賀町の概要

吉賀町は島根県の西南端部、西中国山地の脊梁地帯に位置し、安蔵寺山や鈴の大谷山をはじめとする1,000m級の山々が嶺を連ね、町内をほぼ南北に一級河川「清流日本一の高津川」が貫流しています。中国自動車道・六日市ICや山陰と山陽を結ぶ国道187号線を利用した交通アクセスが良く、高津川に沿って広がる、水と緑に囲まれた農山村地帯です。

農業は、水稻を基幹作物として、ミニトマト等の施設野菜や椎茸、栗、わさび、有機農産物等を組み合わせた小規模複合経営を基本とした兼業農家が主となっています。



【地勢】

吉賀町の総面積は、336.29km²で、町土の構成は、山林92.2%、農地3.0%、その他(河川・道路他)4.8%となっています。

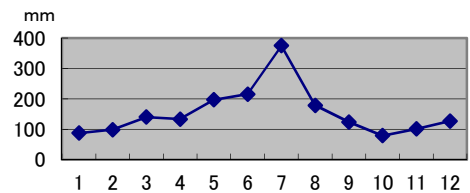
経営耕地面積は約700ha(2010農林業センサス)となっており、清流高津川とそこに流れ込む各支流に沿って集落と農地が形成されています。

〈関連指標〉

総世帯数	2,821世帯	総人口	6,813人
農家戸数	952戸	専業農家戸数	222戸
農家人口	3,327人	農業就業人口	679人
農業産出額	18億円		

出典：農林水産省HP「わがまち・わがムラ -市町村の姿-」より

月別降水量(2007-2011平均)

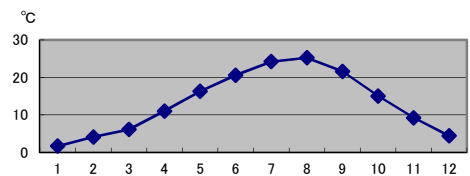


【気象状況】

気象は、典型的な山陰型気候で、年間の平均気温は13.3℃、年間降水量の平均は1,860mm前後と比較的多いほうです。

また、冬季間は厳しい冷え込みと積雪により農作物の作付けは制限されます。

月別平均気温(2007-2011平均)



【交通アクセス】

【飛行機】

羽田空港から萩・石見空港へ。益田市からバスで約1時間15分

【新幹線】

JR山陽本線広島駅で下車。六日市まで高速バスで約1時間40分

【バス】

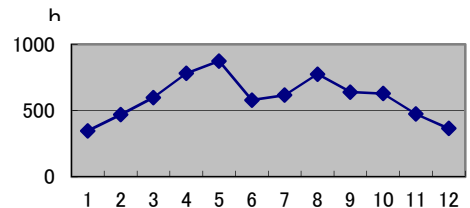
JR益田駅から六日市まで約1時間15分

JR広島駅から六日市まで約1時間40分

【自動車】

山陽自動車道・岩国ICから車で約1時間

月別日照時間(2007-2011平均)



(2)産地、主要品目の概要

吉賀町では、水稲を中心として、ミニトマト等の施設野菜やわさび、椎茸等の栽培が盛んです。また、柿木村地域では、有機農業の30年の歴史があり、地域を挙げての取り組みとなっています。

〔有機農産物生産の概要〕



栽培面積	46ha	出荷量	210 t	販売金額	7,000万円
出荷時期	周年				
主要出荷先	グリーンコープ、消費者グループ、産直市場 等				
その他	「自給を優先した食べものづくりこそ山村の豊かさだ」と少量多品目栽培で旬のものを旬にいただくことを基本に取り組んでいます。				

(生産組織の概要)



生産組織	有機農業研究会 他	生産者	約150名		
主な活動・取組	産地交流会、普及・啓発、技術向上研修 等				
部会から一言	私たちが取り組む有機農業は、田舎の豊かさを実感できる生き方をするための農業です。単に農薬や化学肥料を使わない農業ではなく、自分や家族の健康を願って安全な作物をつくり、食べて、自給的に暮らしていくことが基本です。そして、その「農家の食卓」をそのまま消費者に届けるのです。				

〔ミニトマト生産の概要〕



栽培面積	1.8ha	出荷量	70t	販売金額	4,000万円
出荷時期	6月～12月				
主要出荷先	北九州市場、広島市場、県内市場				
その他	豊かな地域資源によって育まれた真っ赤なミニトマトです。料理や加工品、果物としてフルーツ感覚でも食べられます。				

(生産部会の概要)



生産部会名	吉賀町六日市野菜生産者組合	部会員数	14名		
主な活動・取組	・栽培技術向上研修会の開催 ・優良品種の栽培産地への視察研修会				
部会から一言	甘みがギュッと凝縮したキラキラと輝くおいしいミニトマトを作るため、みんな日々がんばっています。仲間募集中！				

〔わさび生産の概要〕



栽培面積	8ha	出荷量	100t	販売金額	5,000万円
出荷時期	周年出荷				
主要出荷先	JA, 食品加工業者等				
その他	中国山地の雪解水で育まれた深山からの贈りものです。				

(生産部会の概要)



生産部会名	六日市山葵生産組合 柿木村山葵生産振興会	部会員数	56名		
主な活動・取組	・栽培技術向上研修会の開催 ・優良系統品種の育種、栽培試験の実施				
部会から一言	ツーンと鼻から頭に抜ける辛さで目が覚めます。深山の美しい谷川を想わせるような香りのするわさびを一緒につくりませんか。				